

2 道路緑化樹木の推移

2. 1 目的

全国の道路緑化樹木の本数や使用する樹種の推移を把握し、道路緑化に関する基礎資料とすることを目的とした。

2. 2 方法

本章では、道路緑化樹木現況調査の対象範囲を全国に広げた1987年（昭和63年）以降の道路緑化樹木現況調査結果を中心にデータを集計・比較して解析を行った。各年の調査の方法は「第1章 道路緑化樹木現況調査」の「1. 2 方法」と同様である。

2. 3 結果

2. 3. 1 本数の推移

図-2.1、図-2.2に全国の高木および中低木の本数の推移を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で107万本、1992年から1997年の5年間で143万本、1997年から2002年の5年間で58万本増加したが、2002年から2007年の5年間では12万本の減少、2007年から2012年の5年間では8万本の増加となっており、2002年位以降の本数は横ばいである。

中低木は、1987年から1992年の5年間で3,056万本、1992年から1997年の5年間で3,856万本、1997年から2002年の5年間で964万本、2002年から2007年の5年間で289万本、2007年から2012年の5年間で22万本の増加となっており、1992年から1997年の3,860万本をピークに増加本数は大幅に減少している。なお、1997年調査から中低木の調査票に地被類が見られるようになり、前回調査までは中低木の集計に含めてきたが、地被類のほかササ類、シバ等の草本を中低木として本数で計上することには違和感があることから、今回は地被類、ササ類、シバ、シバザクラ、草本を除いて集計している。本数の推移をみるため、1997年、2002年、2007年の中低木総本数からもこれらを除いてグラフを作成している。

図-2.3、図-2.4に道路延長あたりの高木および中低木の本数の増加を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で0.8本/km、1992年から1997年の5年間で1.1本/km、1997年から2002年の5年間で0.4本/km増加したが、2002年から2007年の5年間では0.2本/kmの減少、2007年から2012年の5年間では5.6本/kmで変わらない。

中低木は、1987年から1992年の5年間で26.2本/km、1992年から1997年の5年間で31.8本/km、1997年から2002年の5年間で6.7本/km、2002年から2007年の5年間で0.2本/kmの増加となっており、1992年から1997年の31.9本/kmをピークに増加本数は減少傾向にあったが、2007年から2012年の5年間では1.8本/km減少となった。

2. 3. 2 樹種の推移

表-2.1、表-2.2に道路緑化に使用されている樹種の本数の上位10種を調査年毎に示した。

高木では、イチョウ、サクラ類、ケヤキ、トウカエデ、クスノキ、ナナカマド、プラタナス類の7種は、1987年以降25年間上位10種に入っている。中でもイチョウ、サクラ類、ケヤキの3種は、1992年以降変わらず上位3種を占めている。4位以降については順位が変化してきているが、近年の特徴としては、1987年に3位であったプラタナス類の本数が減少して、今回調査では10位まで順位を落としていることと、ハナミズキの本数の増加が著しく、1997年に7位に入り、2002年以降4位となっていることがあげられる。

1987年以降の25年間において、高木の総本数は1.8倍に増加したが、25年間上位10種に入っている7種のうち、高木全体よりも本数の増加率が高いものは、ケヤキ(3.7倍)、クスノキ(2.2倍)、サクラ類(2.0倍)である。イチョウは変わらず1位ではあるものの増加率は高くなく、2位のサクラ類との差が、1987年の23万から5万本に縮まっている。なお、これらの7種のうち、プラタナス類のみが25年間で本数が減少(0.6倍)している。

これらの樹種の増減の理由として、プラタナス類は、成長が旺盛で剪定に手間がかかり、寿命が短く倒れやすいなど、一般的に管理がしにくいいため、本数を減らしたと考えられる。増加が著しい樹種については次のような特徴がみられる。ケヤキも成長は旺盛であるが、新緑、紅葉、樹形の美しさが好まれ、東北や関東を中心に自治体のシンボルの木に指定されることも多く、各地に名所となっている並木がある。ハナミズキは、花や紅葉の美しさに加えて、樹高があまり高くならずに管理がしやすいなどの長所をもつため、関東の都市部等を中心に本数を増やしている。クスノキは、つややかで厚みのある密な葉のこんもりした樹形で年間を通じて豊かな緑を提供し、都市景観に風格を与えることから、近畿や四国、九州において自治体の木に指定されることが多い。サクラは日本の象徴のような花であり、北海道から九州まで多くの自治体で名所となっている場所も多い。

中低木では、上位の3種のツツジ類、シャリンバイ類、アベリア類は1987年以降の25年間で変動がない。また、サザンカ類は1997年を除き4位を維持している。5位以降は順位が変化しているが、近年は、ヘデラ類、セイヨウツゲ、ドウダンツツジ類が安定して上位を占めている。

1987年以降の25年間において、中低木の総本数は2.4倍に増加し、1位のツツジ類もこの間2.5倍に増加している。また、ツツジ類は1987年以降の25年間において常に総本数の約4割を占めているが、ツツジ類が多いのは、花の美しさに加えて、病害虫にかかりにくく、強剪定に耐えて管理が容易であることなどによるものと考えられる。

また、高木の樹種数と高木の上位樹種の割合の推移を図-2.5に示した。全国調査の始まった1987年からは、上位5種が全体本数の3割強、上位10種が全体本数の5割前後を推移しており変化が少ない。なお、総樹種数については、樹種区分(二種以上をまとめて類で表記する等)に変化があるため増減がある。

図-2.6～図-2.15及び表-2.3～表-2.12に、1987年以降の25年間における上位樹種の変動と樹種の多様性の推移を地方毎に示した。

北海道は、ナナカマドが一貫して1位で高い割合を示している。また、アカエゾマツ、日本産カエデ類が増加しており、ニセアカシア、プラタナス類が減少している。プラタナス類の減少は全国的な傾向で、ニセアカシアはやせ地でも成長がよいことから多用されてきたが、要注意外来生物に指定されたことも影響していると考えられる。樹種はナナカマド、アカエゾマツ、ハルニレ、シラカンバなど北海道の地域特性に合っ

た樹種が選択されている。1987年以降、上位5種の割合は5割台から4割台へ、上位10種の割合は7割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

東北は、ケヤキ、サクラ類の増加率が高く、イチヨウ、トウカエデは増加しているものの全体に占める割合は低下している。前回まで、上位10種に入っていたプラタナスが圏外となった。1987年以降、上位5種の割合は5割台から4割台へ、上位10種の割合は7割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

関東は、イチヨウが一貫して1位を占めているが、25年間の増加が6%にとどまっている。サクラ類は、2~3位を維持しているが、25年間で本数が2倍近くに増加している。また、ハナミズキは、25年間で本数が5倍以上になっているが近年は横ばいである。プラタナス類は、1982年から2012年にかけて本数が約65%に減少した。上位5種は4割台、上位10種は6割前後で安定している。

北陸は、25年間でケヤキが4.5倍となっており増加が著しい。サクラ類、ハナミズキの増加も目立っている。イチヨウ、トウカエデは、上位を維持しているが、25年間の変化はそれぞれ19%増、8%減となっている。1987年以降、上位5種の割合は6割台から4割台へ、上位10種の割合は9割台から6割台に低下し、樹種の多様化の傾向がみられる。

中部は、1987年に1位のイチヨウと2位のトウカエデが拮抗している。25年間でイチヨウは1.4倍、トウカエデは1.6倍となっており今回調査では順位は変わらなかった。上位5種は4割台、上位10種は6割台で安定している。

近畿は、本数の伸びが著しいのは、25年間で2.2倍となったケヤキ、2.1倍のクスノキ、1.8倍のサクラ類である。また、2002年以降はサザンカ類、ハナミズキが上位に入ってきた。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

中国は、モミジバフウが上位に入っていることが特徴である。なお、1987年に1位だったプラタナス類は一貫して本数が減少している。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

四国は、クスノキ、モミジバフウが上位を維持している。また、ケヤキとクロガネモチが増加している。上位5種は4割前後、上位10種は6割前後で安定している。

九州は、25年間でケヤキが3.5倍、サクラ類が2.4倍、クロガネモチが2.2倍と伸びが著しい。一方1987年に1位のイチヨウは1.1倍で4位に順位を落としている。また、ホルトノキなど他地域でこれまでに見られなかった樹種も上位に入っている。上位5種は4割台、上位10種は6割台で安定している。

沖縄は、上位10種は九州以北と全く異なっている。また、フクギが5.0倍、リュウキュウマツが4.6倍と増加が著しい。上位5種は4割台、上位10種は6割台で安定しており、樹種は全く異なっているが、上位樹種の占める割合は他の地域と同じ水準である。

2. 3. 3 樹木タイプの推移

図-2.16に全国の樹木タイプの構成比の推移を示した。

1992年から1997年に落葉広葉樹の割合が減少、常緑広葉樹の割合が増加し、その後はあまり変化がない。

図-2.18に地域別の常緑広葉樹の割合の推移を示した。

沖縄では一貫して6割前後の高い割合を示している。近畿、中国、四国、九州も4割前後となっている。中部、関東で2割前後、北陸で1割前後となっており、それぞれの地域の気候に合った樹種が選択されていることが伺われる。

2. 3. 4 今後の課題

街路樹は、1987年に約371万本であったものが2002年には約679万本と、15年間に約1.8倍に増加した。しかし、その後は横ばいで、今後は大きく成長した街路樹の維持管理に重点がおかれることが予想される。街路樹の生育空間には制限あるにもかかわらず、大きく成長する樹種が植栽されている場合もみられ、樹形を維持するための剪定や根上り対策等が必要不可欠となるが、管理費の削減により適切な管理が行うことが難しくなっている場合も見受けられる。また、植栽時から半世紀程度経過した都市では、周辺の土地利用が大きく変化していることもあり、街路樹の整備方針を転換するなどの再考が求められる場合も考えらる。快適な生活環境や良好な景観の形成に向けて、また温暖化対策の点からも、道路緑化の推進が重要であることはもちろんであるが、今後は維持管理の比重が高まると思われる。

ひきつづき全国の道路緑化について基礎的な調査を継続するとともに、必要な情報を収集・公開していくことが必要である。

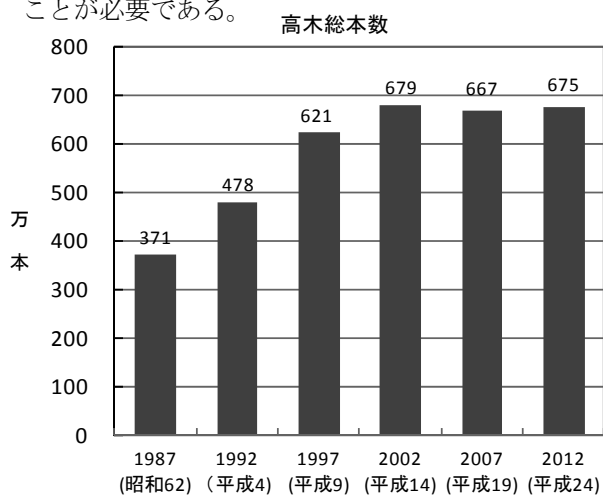


図-2.1 全国の高木本数の推移

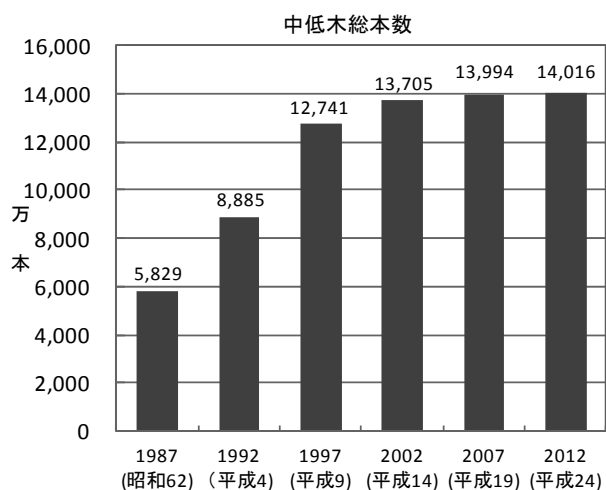


図-2.2 全国の中低木本数の推移

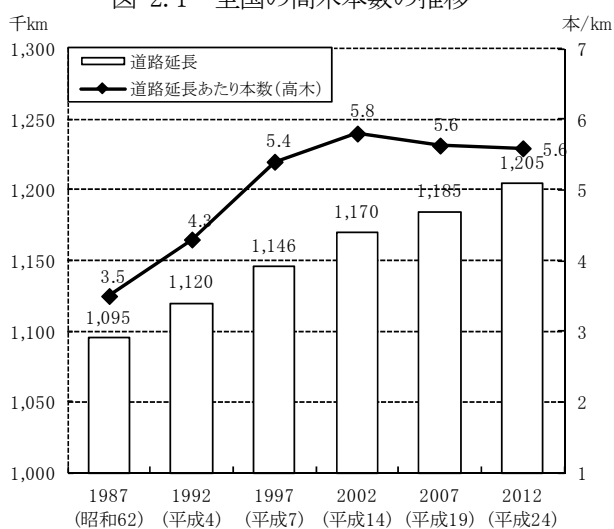


図-2.3 道路延長あたりの高木本数の推移

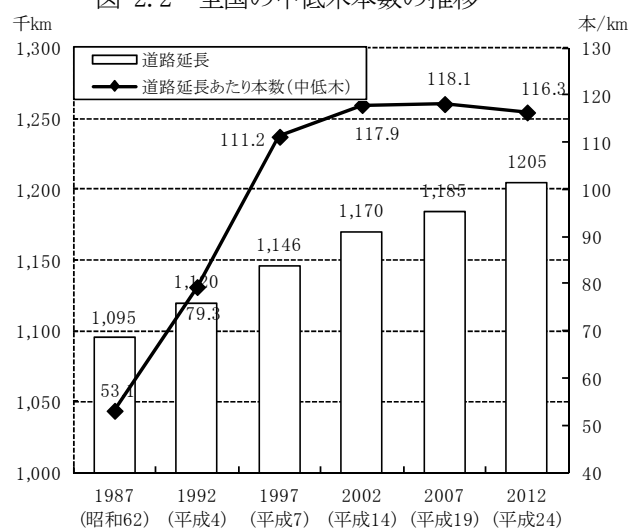


図-2.4 道路延長あたりの中低木本数の推移

表-2.1 道路緑化樹木（高木）の上位10種の推移

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)		対前回 調査割合 (%)
	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	
1	イチョウ	486	イチョウ	552	イチョウ	591	イチョウ	619	イチョウ	572	イチョウ	570	100
2	サクラ類	260	サクラ類	346	サクラ類	428	サクラ類	520	サクラ類	494	サクラ類	522	106
3	ブラタナス類	258	ケヤキ	305	ケヤキ	412	ケヤキ	476	ケヤキ	478	ケヤキ	487	102
4	トウカエデ	238	トウカエデ	281	トウカエデ	317	ハナミズキ	343	ハナミズキ	333	ハナミズキ	360	108
5	ケヤキ	133	ブラタナス類	251	クスノキ	247	トウカエデ	330	トウカエデ	317	トウカエデ	321	101
6	カシ類	129	クスノキ	193	ブラタナス類	229	クスノキ	286	クスノキ	271	クスノキ	276	102
7	クスノキ	128	ナナカマド	162	ハナミズキ	210	ブラタナス類	205	モミジバフウ	196	ナナカマド	196	100
8	ナナカマド	110	日本産カエデ類	140	ナナカマド	193	ナナカマド	196	ナナカマド	196	日本産カエデ類	183	122
9	シラヤナギ	109	モミジバフウ	120	シラカシ	179	サザンカ類	176	ブラタナス類	163	モミジバフウ	170	87
10	ニセアカシア	106	マテバシイ	112	日本産カエデ類	144	モミジバフウ	149	日本産カエデ類	150	ブラタナス類	149	91
	総本数	3,708	総本数	4,785	総本数	6,208	総本数	6,786	総本数	6,675	総本数	6,750	101

表-2.2 道路緑化樹木（中低木）の上位10種の推移

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)		対前回 調査割合 (%)
	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	
1	ツツジ類	25,107	ツツジ類	37,578	ツツジ類	54,574	ツツジ類	61,532	ツツジ類	61,449	ツツジ類	62,083	101
2	シャリンバイ	4,971	シャリンバイ	7,057	シャリンバイ類	8,754	シャリンバイ類	8,945	シャリンバイ類	9,519	シャリンバイ類	9,447	99
3	アベリア	3,756	アベリア類	6,369	アベリア類	8,352	アベリア類	8,608	アベリア類	9,486	アベリア類	9,247	97
4	サザンカ類	2,542	サザンカ類	3,851	ツゲ類	6,910	サザンカ類	5,195	サザンカ類	5,578	サザンカ類	5,461	98
5	ツゲ類	2,330	ツゲ類	3,322	サザンカ類	3,778	ヘデラ類	5,154	ヘデラ類	5,079	ドウダンツツジ類	4,541	98
6	イヌツゲ	1,428	ドウダンツツジ類	2,027	ドウダンツツジ類	2,758	ホソツゲ類	4,601	ドウダンツツジ類	4,648	セイヨウツゲ	3,604	80
7	ハマヒサカキ	1,294	イヌツゲ類	1,937	トベラ類	2,742	ドウダンツツジ類	4,331	セイヨウツゲ	4,484	ヘデラ類	3,471	68
8	トベラ	1,249	トベラ	1,757	ヘデラ類	2,356	ヒベリカム類	2,789	イヌツゲ類	3,048	ヒベリカム類	2,953	107
9	ウメメガシ	1,067	ハマヒサカキ	1,692	ハマヒサカキ	2,170	イヌツゲ類	2,713	ヒベリカム類	2,750	イヌツゲ類	2,900	95
10	ネズミモチ	888	ネズミモチ類	1,337	ウメメガシ	1,921	ハマヒサカキ	2,046	ハマヒサカキ	2,009	ハマヒサカキ	2,050	102
	総本数	58,288	総本数	88,852	総本数	127,451	総本数	149,022	総本数	161,529	総本数	140,156	87

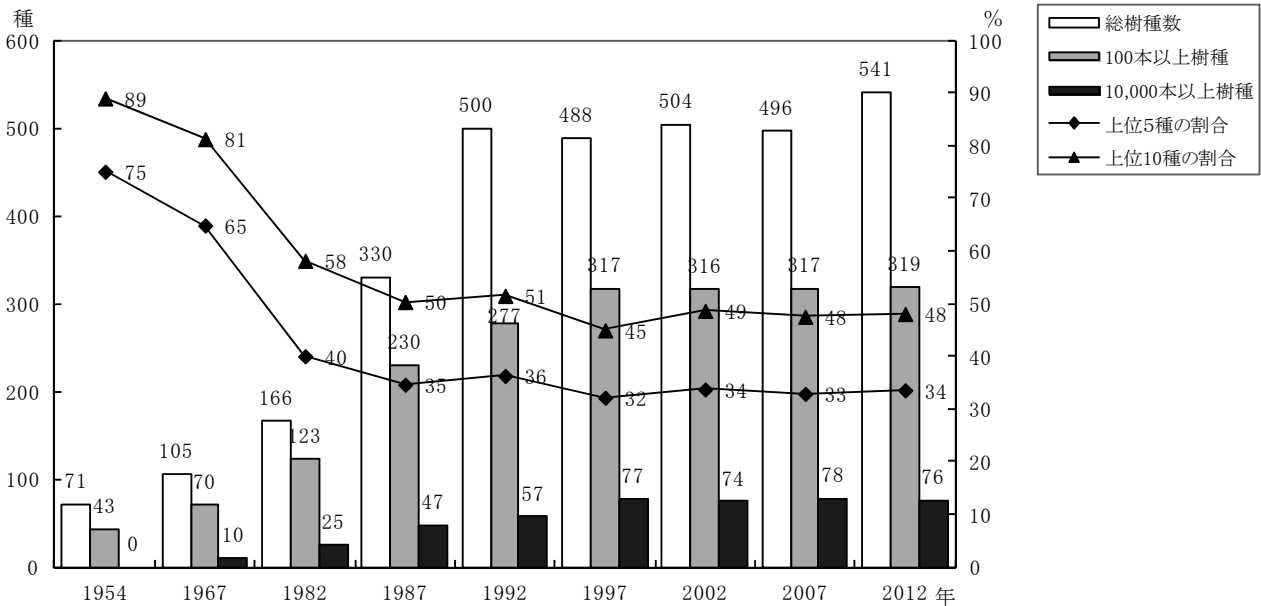


図-2.5 高木の樹種数と高木の上位樹種の割合の推移

表-2.3 高木上位10種の推移（北海道）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	ナナカマド	90,530	20	ナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	149,502	14	
2	ニセアカシア	49,808	11	イチヨウ	日本産カエデ類	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	アカエゾマツ	90,431	9	
3	ブラタナス類	44,870	10	日本産カエデ類	イチヨウ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	日本産カエデ類	79,823	8	
4	イチヨウ	38,279	8	ニセアカシア	アカエゾマツ	日本産カエデ類	アカエゾマツ	イチヨウ	イチヨウ	69,970	7	
5	カエデ類	31,500	7	ブラタナス類	サクラ類	ハルニレ	日本産カエデ類	サクラ類	サクラ類	64,265	6	
6	サクラ類	30,304	7	サクラ類	ブラタナス類	ブラタナス類	ハルニレ	ヤナギ類	ヤナギ類	53,306	5	
7	シラカバ	22,330	5	シラカバ	ニセアカシア類	ニセアカシア	ニセアカシア	ハルニレ	ハルニレ	48,960	5	
8	マツ類	16,345	4	ハルニレ	ハルニレ	アカエゾマツ	ブラタナス類	シラカバ	シラカバ	40,905	4	
9	ニレ類	15,394	3	アカマツ・クロマツ類	シラカバ	シラカバ	シラカバ	シラカバ	ブラタナス類	37,436	4	
10	クロマツ	13,178	3	アカエゾマツ	アカマツ・クロマツ類	シラカバ	シラカバ	ニセアカシア	ニセアカシア	31,641	3	
総本数	461,507			652,035		864,945		856,791		961,296		1,042,510
上位5種	55%			49%		44%		41%		41%		44%
上位10種	76%			71%		65%		62%		61%		64%

表-2.4 高木上位10種の推移（東北）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	34,133	16	イチヨウ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	54,598	12	
2	ケヤキ	22,434	11	日本産カエデ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	48,420	11	
3	トウカエデ	21,812	10	ケヤキ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	37,945	8	
4	サクラ類	17,211	8	トウカエデ	ナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	トウカエデ	トウカエデ	32,754	7	
5	ブラタナス類	15,984	8	ブラタナス類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	ナナカマド	32,728	7	
6	ナナカマド	11,947	6	ナナカマド	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	26,613	6	
7	カイズカイブキ	8,873	4	サクラ類	ブラタナス類	ユリノキ	ユリノキ	ユリノキ	ユリノキ	14,131	3	
8	ユリノキ	8,738	4	エンジュ	ユリノキ	ブラタナス類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	11,918	3	
9	カエデ類	8,542	4	ユリノキ	サワラ類	日本産カエデ類	ブラタナス類	ヤマボウシ	ヤマボウシ	11,137	2	
10	シダレヤナギ	7,442	4	イブキ類	カツラ	ヤマボウシ	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	10,537	2	
総本数	207,889			358,722		393,173		447,031		439,338		456,942
上位5種	54%			47%		48%		47%		45%		45%
上位10種	76%			70%		66%		65%		61%		61%

表-2.5 高木上位10種の推移（関東）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	176,465	18	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	182,822	11	
2	ブラタナス類	77,142	8	サクラ類	サクラ類	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	170,187	10	
3	サクラ類	80,506	8	ケヤキ	ハナミズキ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	138,496	9	
4	トウカエデ	75,074	8	トウカエデ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	113,931	7	
5	ケヤキ	62,539	6	ブラタナス類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	91,925	6	
6	マテバシイ	45,328	5	ハナミズキ	ブラタナス類	ブラタナス類	マテバシイ	マテバシイ	マテバシイ	57,560	4	
7	エンジュ	39,259	4	ユリノキ	ユリノキ	マテバシイ	ユリノキ	ユリノキ	ユリノキ	56,817	3	
8	ユリノキ	37,160	4	マテバシイ	マテバシイ	クスノキ	ブラタナス類	クスノキ	クスノキ	51,181	3	
9	ハナミズキ	30,100	3	エンジュ	クスノキ	ユリノキ	クスノキ	クスノキ	ブラタナス類	50,800	3	
10	シダレヤナギ	26,737	3	クスノキ	エンジュ類	エンジュ	キョウチクトウ	モミジバフウ	モミジバフウ	36,319	2	
総本数	966,802			1,214,647		1,375,186		1,849,807		1,662,598		1,623,897
上位5種	49%			45%		45%		43%		41%		43%
上位10種	67%			65%		64%		61%		58%		59%

表-2.6 高木上位10種の推移（北陸）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	22,773	23	イチヨウ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	46,241	16	
2	トウカエデ	11,650	12	ケヤキ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	27,028	9	
3	ケヤキ	10,248	10	サクラ類	アカマツ・クロマツ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	26,089	9	
4	ブラタナス類	9,852	10	アカマツ・クロマツ類	トウカエデ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	22,148	8	
5	サクラ類	9,522	9	トウカエデ	サクラ類	トウカエデ	トウカエデ	アカマツ・クロマツ類	アカマツ・クロマツ類	13,033	5	
6	ニセアカシア	8,473	8	モミジバフウ	ハナミズキ	アカマツ・クロマツ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	10,725	4	
7	モミジバフウ	6,479	6	ブラタナス類	ブラタナス類	ユリノキ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	9,962	3	
8	シダレヤナギ	5,846	6	シダレヤナギ	ユリノキ	ブラタナス類	サルズベリ類	サルズベリ類	サルズベリ類	8,477	3	
9	ユリノキ	4,443	4	ユリノキ	ナナカマド	モミジバフウ	シラカシ	ヤマボウシ	ヤマボウシ	8,299	3	
10	カイズカイブキ	3,555	4	ニセアカシア	ヤナギ類	ヤマボウシ	ヤマボウシ	エンジュ	エンジュ	7,630	3	
総本数	101,131			149,867		232,066		238,333		270,126		288,820
上位5種	63%			55%		46%		47%		47%		47%
上位10種	92%			73%		61%		60%		62%		62%

表-2.7 高木上位10種の推移（中部）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	59,697	12	イチヨウ	イチヨウ	トウカエデ	トウカエデ	イチヨウ	イチヨウ	81,408	9	
2	トウカエデ	49,243	10	トウカエデ	トウカエデ	イチヨウ	イチヨウ	トウカエデ	トウカエデ	80,818	9	
3	サクラ類	39,977	8	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	71,796	8	
4	ブラタナス類	32,220	7	ケヤキ	ケヤキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	66,413	7	
5	ナンキンハゼ	21,855	4	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	59,106	6	
6	ケヤキ	18,498	4	ブラタナス類	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	43,489	5	
7	シダレヤナギ	16,180	3	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	モミジバフウ	クスノキ	38,321	4	
8	マテバシイ	12,980	3	日本産カエデ類	ブラタナス類	シラカシ	クスノキ	モミジバフウ	モミジバフウ	35,800	4	
9	アオギリ	12,711	3	ハナミズキ	日本産カエデ類	モミジバフウ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	31,562	3	
10	クスノキ	12,193	3	モミジバフウ	モミジバフウ	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	日本産カエデ類	29,616	3	
総本数	486,938			648,813		843,480	850,643	869,317	910,879			
上位5種	42%			43%		36%	38%	39%	39%			
上位10種	57%			60%		53%	56%	58%	59%			

表-2.8 高木上位10種の推移（近畿）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	カシ類	107,483	12	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	109,446	10	
2	イチヨウ	99,734	11	クスノキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	107,840	10	
3	トウカエデ	57,351	7	ケヤキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	100,049	9	
4	クスノキ	48,212	5	トウカエデ	トウカエデ	サザンカ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	69,845	6	
5	ケヤキ	48,154	5	カシ類	シラカシ	トウカエデ	サザンカ類	サクラ類	サクラ類	65,583	6	
6	ブラタナス類	45,390	5	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サザンカ類	サザンカ類	65,283	6	
7	ウバメガシ	43,064	5	ウバメガシ	ブラタナス類	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	44,686	4	
8	サクラ類	37,570	4	ブラタナス類	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	41,668	4	
9	ナンキンハゼ	25,579	3	ナンキンハゼ	アラカシ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	カシ類不明	カシ類	34,991	3	
10	シダレヤナギ	24,861	3	イブキ類	ヤマモモ	ネズミモチ類	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	31,641	3	
総本数	878,142			853,529		1,131,750	1,099,872	1,101,415	1,118,355			
上位5種	41%			38%		39%	41%	40%	40%			
上位10種	61%			60%		55%	59%	59%	60%			

表-2.9 高木上位10種の推移（中国）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	ブラタナス類	17,331	11	クスノキ	シラカシ	サザンカ類	ケヤキ	モミジバフウ	モミジバフウ	27,329	10	
2	モミジバフウ	16,121	10	モミジバフウ	サクラ類	ケヤキ	モミジバフウ	ケヤキ	ケヤキ	26,956	10	
3	クスノキ	13,188	8	サクラ類	ケヤキ	モミジバフウ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	22,944	8	
4	イチヨウ	11,744	7	ブラタナス類	アラカシ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	22,344	8	
5	ケヤキ	8,530	5	ケヤキ	モミジバフウ	クスノキ	サザンカ類	ブラタナス類	ブラタナス類	11,757	4	
6	トウカエデ	7,283	5	イチヨウ	クスノキ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	11,465	4	
7	サクラ類	6,860	4	マテバシイ	サザンカ類	シラカシ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	11,209	4	
8	カイズカイブキ	6,831	4	ヤマモモ	イチヨウ	ブラタナス類	ブラタナス類	ハナミズキ	ハナミズキ	9,632	4	
9	マテバシイ	6,211	4	トウカエデ	ブラタナス類	クロガネモチ	ヤマモモ	マテバシイ	マテバシイ	9,297	3	
10	アオギリ	6,171	4	クロガネモチ	ウバメガシ	ヤマモモ	マテバシイ	トウカエデ	トウカエデ	8,926	3	
総本数	157,838			211,408		441,720	350,850	298,767	271,466			
上位5種	42%			44%		38%	38%	40%	41%			
上位10種	64%			64%		56%	54%	58%	60%			

表-2.10 高木上位10種の推移（四国）

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	クスノキ	7,226	5	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	モミジバフウ	クスノキ	19,323	13	
2	ヤマモモ	5,666	4	サクラ類	サンゴジュ	ケヤキ	クスノキ	ケヤキ	ケヤキ	10,879	7	
3	ブラタナス類	5,568	4	ヤマモモ	ケヤキ	ヤマモモ	マテバシイ	モミジバフウ	モミジバフウ	9,846	7	
4	モミジバフウ	5,267	4	モミジバフウ	ヤマモモ	モミジバフウ	ケヤキ	クロガネモチ	クロガネモチ	9,839	7	
5	イチヨウ	4,751	3	トウカエデ	イチヨウ	ナンキンハゼ	クロガネモチ	マテバシイ	マテバシイ	8,336	6	
6	カイズカイブキ	3,821	3	イチヨウ	マテバシイ	クロガネモチ	ヤマモモ	ヤマモモ	ヤマモモ	8,308	6	
7	マテバシイ	3,625	3	ブラタナス類	ナンキンハゼ	マテバシイ	カナメモチ類	サクラ類	サクラ類	7,542	5	
8	シダレヤナギ	3,424	2	マテバシイ	クロガネモチ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	6,400	4	
9	サクラ類	3,239	2	ケヤキ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	サクラ類	ナンキンハゼ	5,334	4	
10	トウカエデ	3,202	2	モミジバフウ	モミジバフウ	トウカエデ	ハナミズキ	トウカエデ	トウカエデ	5,261	4	
総本数	141,415			99,868		133,418	154,621	233,633	148,115			
上位5種	20%			41%		37%	38%	45%	39%			
上位10種	32%			81%		59%	60%	63%	61%			

表-2.11 高木上位10種の推移（九州）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	38,001	11	イチヨウ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	ケヤキ	サクラ類	サクラ類	71,509	11	
2	サクラ類	30,197	9	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	ケヤキ	サクラ類	ケヤキ	ケヤキ	66,563	11	
3	ホルトノキ	29,271	9	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	クロガネモチ	57,431	9	
4	クスノキ	26,454	8	サクラ類	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	43,200	7	
5	クロガネモチ	25,757	8	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	クスノキ	42,232	7	
6	ケヤキ	18,852	6	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	31,700	5	
7	カイヅカイブキ	18,830	6	ナンキンハゼ	サザンカ類	サザンカ類	サザンカ類	トウカエデ	トウカエデ	トウカエデ	21,020	3	
8	ナンキンハゼ	16,837	5	トウカエデ	トウカエデ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ハナミズキ	ハナミズキ	ハナミズキ	19,832	3	
9	ヤシ類	12,399	4	イブキ類	ナンキンハゼ	トウカエデ	トウカエデ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	ナンキンハゼ	17,671	3	
10	トウカエデ	12,101	4	モミジバフウ	ツバキ類	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	モミジバフウ	17,219	3	
総本数		334,479		431,208		572,771		680,418		586,932		626,004	
上位5種			45%		45%		41%		43%		46%		45%
上位10種			68%		68%		61%		61%		64%		62%

表-2.12 高木上位10種の推移（沖縄）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		2012(平成24)	
	樹種名	本数	割合	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	樹種名	本数	割合	
1	ネズミモチ	16,180	14	テリハボク	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	フクギ	フクギ	フクギ	33,929	13	
2	ヤシ類	12,182	10	リュウキュウマツ	テリハボク	テリハボク	フクギ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	28,319	11	
3	ガジュマル	10,024	9	フクギ	フクギ	テリハボク	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	28,116	11	
4	テリハボク	7,503	6	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	リュウキュウマツ	テリハボク	テリハボク	テリハボク	15,105	6	
5	イスノキ	6,814	6	イスノキ	ガジュマル類	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	ホルトノキ	12,861	5	
6	フクギ	6,770	6	ホルトノキ	ホルトノキ	イスノキ	イスノキ	モモタマナ	モモタマナ	モモタマナ	11,809	4	
7	リュウキュウマツ	6,162	5	イヌマキ類	イスノキ	ガジュマル類	ガジュマル類	イスノキ	イスノキ	イスノキ	11,092	4	
8	ホルトノキ	5,880	5	ガジュマル	アカギ	クロキ	クロキ	ガジュマル類	ガジュマル	ガジュマル	11,070	4	
9	モッコク	5,749	5	トックリヤシモドキ	トックリヤシモドキ	ブーゲンビレア	ブーゲンビレア	アカギ	アカギ	アカギ	9,732	4	
10	イヌマキ	4,903	4	アカギ	サクラ類	サクラ類	サクラ類	ホウオウボク	ホウオウボク	ホウオウボク	8,937	3	
総本数		117,041		164,605		219,742		257,384		251,480		262,822	
上位5種			45%		45%		47%		42%		45%		45%
上位10種			70%		67%		67%		62%		65%		65%

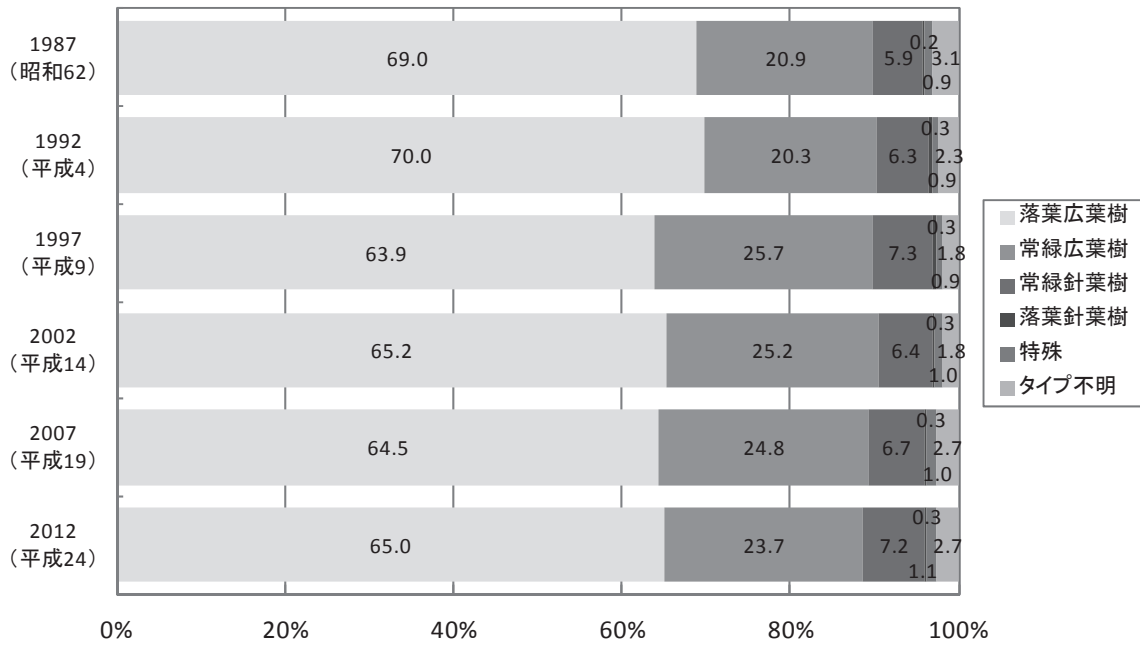


図-2.6 全国の樹木タイプの変化

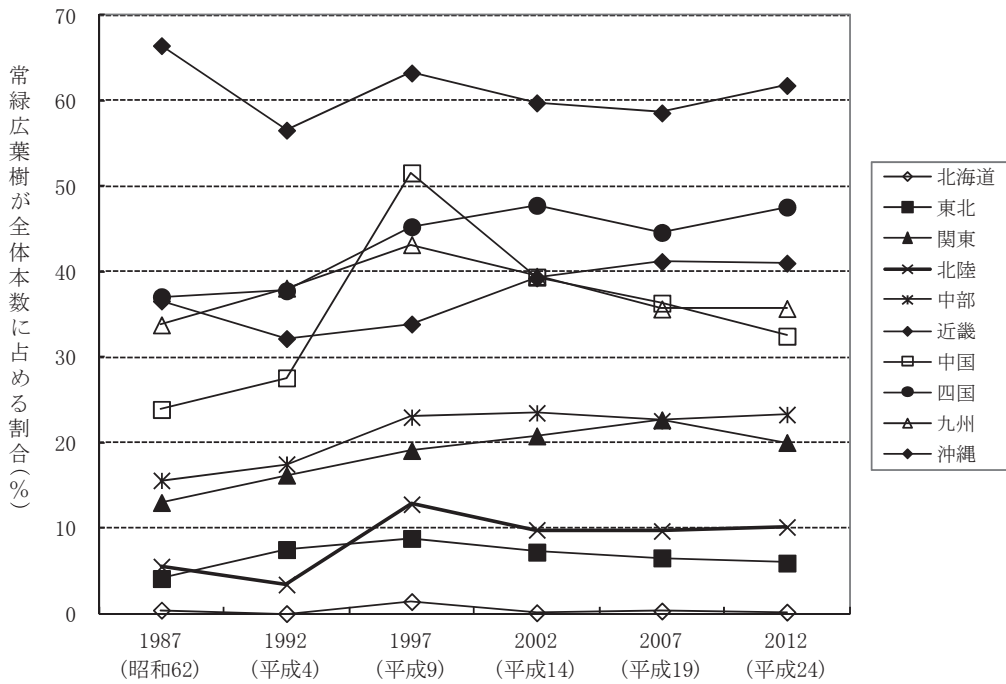


図-2.7 常緑広葉樹が全体本数に占める割合の推移